

横山 悦生 教授 略歴

生年月日 1957年1月16日生まれ

学歴

1975年4月 京都大学工学部石油化学科入学
 1979年3月 京都大学工学部石油化学科卒業
 1979年4月 京都大学教育学部学士入学
 1981年3月 京都大学教育学部卒業
 1981年4月 京都大学教育学部聴講生
 1982年4月 京都大学大学院教育学研究科博士課程前期課程（教育学専攻）入学
 1985年3月 京都大学大学院教育学研究科博士課程前期課程（教育学専攻）修了
 1985年4月 京都大学大学院教育学研究科博士課程後期課程（教育学専攻）進学
 1988年3月 京都大学大学院教育学研究科博士課程後期課程（教育学専攻）単位取得退学



職歴

1988年4月 岐阜大学教育学部助手
 1994年5月 岐阜大学教育学部助教授
 1996年10月 岐阜大学地域科学部助教授
 1999年4月 名古屋大学教育学部助教授
 2000年4月 名古屋大学大学院教育発達科学研究科助教授（大学院重点化による）
 2010年4月 名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授

学会役員

2006年11月 北ヨーロッパ学会理事（2016年10月まで）
 2014年11月 北ヨーロッパ学会副会長（2016年10月まで）
 2016年11月 北ヨーロッパ学会会長（2018年10月まで）
 2013年10月 日本産業教育学会理事
 2016年10月 日本産業教育学会常設理事
 2019年10月 日本産業教育学会常任理事（規約改正による）
 2020年4月 日本職業教育学会常任理事（学会名称変更による）（現在に至る）
 2013年6月 産業考古学会理事
 2015年6月 産業考古学会理事長
 2020年6月 産業遺産学会理事長（学会名称変更による）
 2021年6月 産業遺産学会会長（現在に至る）

学術的活動（海外）

1997年8月 スウェーデン・リンショーペン大学客員研究員（1998年3月まで）
 2003年8月 スウェーデン・ストックホルム教育大学客員研究員（2004年8月まで）
 2013年7月 スウェーデン・ルンド大学経済・経営学研究科客員教授（2013年9月まで）
 2019年6月 ドイツ・ケルン大学社会科学部特別招へい教授

学術的活動（国内）

日本学術振興会・科学研究費委員会専門委員（2013年～2014年，2015年～2016年，2017年～2018年）

社会的活動

2007年4月 愛知県総合技術高等学校構想委員会（2008年3月まで）
2011年11月 愛知地方労働審議会委員（2013年11月まで）
2013年11月 愛知地方労働審議会副会長（2021年11月まで）
2012年4月 愛知県障害者雇用審議会会長（2022年3月まで）

非常勤講師

1990年4月 愛知県医師会看護専門学校（教育学）（1997年3月まで）
1991年4月 市邨学園短期大学（生活史）（1997年3月まで）
1992年4月 東海女子大学（教育学）（1997年3月まで）
1994年4月 岐阜大学農学部（職業指導）（1997年3月まで）
2004年10月 岐阜大学工学部（職業指導）（2010年3月まで）
2010年4月 岐阜大学教育学部（職業指導）（2020年3月まで）
2016年4月 放送大学非常勤講師（2017年3月まで）

日本学術振興会科学研究費補助金（代表のみ）

基盤研究（C）「スウェーデンにおける『教育的スロイド』の成立過程に関する実証的研究」
2005年度～2007年度

基盤研究（C）「スウェーデンにおける民衆学校制度の成立・展開とスロイド教育」2008年度～2010年度

基盤研究（B）「北欧における職業教育・訓練の改革に関する総合的研究—新しい「徒弟訓練」を中心に—」
2013年度～2016年度

挑戦的研究（萌芽）「学校図面分析による戦前戦後の技能労働者教育に関する歴史的研究」2018年度～2019年度

挑戦的研究（萌芽）「産業遺産の価値変遷と保存・利活用のあり方，マネジメントの国際比較」2021年度～2022年度

研究業績

I 著書・共著・分担執筆

1. 「第10章 労働教育の新たな構想—工場七年制学校の労働教育プログラム分析—」（竹田正直編『教育改革と子どもの全面発達』，ナウカ社，1987年，271頁～304頁（横山執筆部分）。
2. 「解説 家庭科教育の現代史と雑誌『家庭科教育』」（復刻版『雑誌家庭科教育』別巻（解説）），大空社，1990年，189頁～236頁（横山執筆部分）。
3. 「第1部第3章 産業教育の振興と家庭科」「第2部第1章第3節 生活と労働を結びつける中学校家庭科の授業（産教連）」（鈴木敏子・朴木佳緒留編『資料からみる戦後家庭科のあゆみ』，学術図書出版社，1990年，70頁～103頁，221頁～238頁（横山執筆部分）。
4. 「第1章 2 わが国の家庭科教育発展小史」「第2章 2（2）中学校技術・家庭科学習指導要領改訂の特徴点（3）高等学校家庭科学習指導要領改訂の特徴点」，（豊村洋子・山口久子編『人間性を育てる家庭科教育』）大衆書房，1991年，7頁～21頁，38頁～44頁（横山執筆部分）。
5. 「第1部第6章 文部省著作家庭科教科書の発行状況とその歴史的考察」（大学家庭科教育研究会編『男女が学ぶ家庭科の時代』，法律文化社，1993年，64頁～77頁（横山執筆部分）。

6. 復刻版『文部省著作 家庭科教科書』別巻（「文部省著作家庭科教科書について」）大空社，1993年，全90頁。
7. 「第6章 学習指導要領における小学校家庭科—その変遷と問題—」（馬路泰蔵編『家庭科教育の新しい展開』，学術図書出版社，1994年，111頁－122頁（横山執筆部分）。
8. 「第9章 諸外国における技術科教育の現状 6. スウェーデン」（技術科教育実践講座刊行会『CD－ROM版 技術科教育実践講座 理論編1 Vol.1 工夫し創造する力をはぐくむ「カリキュラムと学習指導・評価』），ニチブン 2002年6月，335頁－340頁（横山執筆部分）。
9. 「第15章 高等小学校『家事教科書』研究序説」（稲葉宏雄編『教育方法学の再構築』，あゆみ出版，1995年，333頁－346頁（横山執筆部分）。
10. 岐阜県教育委員会編『岐阜県教育史 通史編 現代1』，2004年3月。
「第1部第3章第3節 実業学校」169頁－178頁，
「第2部第4章第1節 新制高等学校の発足と再配置」537頁－552頁，
「第5章第2節 国立岐阜大学の発足」583頁－593頁，
「第9章第1節 私立各種学校」686頁－693頁。
11. 「比較教育編 スウェーデン」（技術教育分科会編『技術科教育総論』，日本産業技術教育学会），2005年4月，176頁－181頁（横山執筆部分）。
12. 「手工教育の父—オットー・サロモン—」（子どもの遊びと手の労働研究会編『子どもの手を育てる』，ミネルヴァ書房，2007年7月，184頁～186頁（横山執筆部分）。
13. Етсуо Ёкояма et al. “Влияние системы Отто Саломона на развитие трудового обучения и политехнического образования в мире” (Etsuo Yokoyama edit. “The influence of Otto Salomon’s system on development of labour training and polytechnic education in the world”) 2010. 11, Moscow
14. 「第8章第7節 スウェーデン」（日本産業教育学会編『産業教育・職業教育学ハンドブック』），大学教育出版，2013年1月，240頁－242頁（横山執筆部分）。
15. 「スウェーデン，ノルウェー，フィンランドの中等教育における職業教育」（堀内達夫ら編『日本と世界の職業教育』，法律文化社，2013年5月，147頁－160頁（横山執筆部分）。
16. 梶原豊・横山悦生・三宅章介編著『大学生のキャリア開発—自分らしく働くための処方箋』，同友館，2014年，（第2章担当）33頁－56頁（横山執筆部分）
17. 佐々木亨先生追悼集編集委員会編『技術・職業教育学者 佐々木亨先生追悼集 人間いたるところに青山あり』，大空社，2016年5月，i, ii 273－274頁（横山執筆部分）。
18. 石原俊時・横山悦生 監訳『制度はいかに進化するか』（Kethleen Thelen “How institutions evolve - The Political Economy of Skills in Germany, Britain, the United States, and Japan” Cambridge University Press, 2004），大空社出版，2022年3月。

II 学術論文

1. 「戦後新教育における職業科の評価論」京都大学教育学部教育指導教育課程研究室編『教育評価の基礎的研究』，1985年8月，108頁－118頁。
2. 「戦前の中学校における作業科」名古屋大学教育学部技術教育学研究室『技術教育学研究』第3号，1986年9月，101頁－127頁。
3. 「最初の高等学校職業科の教科課程の成立経緯について」名古屋大学教育学部技術教育学研究室『技術教育学研究』第4号，1987年12月，51頁－77頁。
4. 「女子専用教科から男女に開かれた教科へ—中学校の教育課程における家庭科の位置をめぐるノート—」『岐阜大学教育学部研究報告（人文科学）』第37巻，1989年3月，44頁－63頁。
5. 「職業・家庭科の教科書に関する研究（第1報）—男子用教科書における「家庭科的内容」の検討—」『岐阜大学教育学部研究報告（人文科学）』第38巻，1990年3月，79頁－114頁。
6. 「中学校家庭科教育における男女共学の現状—岐阜県における1991年実態調査より—」『岐阜大学教育学部研究報告（人文科学）』第40巻，1992年3月，167頁－177頁。

7. 「高齢者のソーシャル・ネットワークについて—家庭科教育における高齢者問題の教材化に関する基礎的研究—」(谷田沢典子・石岡富貴子・三輪聖子・浅井恭子・藤井敏子・岩水龍峰・高田洋子と共同研究)『岐阜大学教科教育学研究』創刊号, 1992年6月.
8. 「和裁関係と調理関係の職業訓練短期大学校について」悠峰職業科学研究所『研究紀要第1巻, 1993年4月, 57頁-61頁.
9. 「高齢者のソーシャル・ネットワークについて—家庭科教育における高齢者問題の教材化に関する基礎的研究(第2報)—」(谷田沢典子・石岡富貴子・三輪聖子・浅井恭子・藤井敏子・岩水龍峰・高田洋子と共同研究)岐阜大学教科教育学研究, 第3号, 1994年6月.
10. 「産業遺産からみた岐阜の水力発電史(その1)」『岐阜大学地域科学部研究報告』第1号, 1997年3月(高橋伊佐夫, 稲生勝, 田口憲一との共同研究), 187頁-199頁.
11. 「1958年の技術・家庭科の学習指導要領の普通教育としての性格—文部省職業教育課課内会議の資料にそくして—」『産業教育学研究』第27巻第2号, 1997年7月, 42頁-53頁.
12. Etsuo Yokoyama, Lázaro Moreno Herrera 'Otto Salomon beyond Swedish history of education—Implications for current developments in technology education at the compulsory school—', "NAGOYA JOURNAL OF EDUCATION AND HUMAN DEVELOPMENT" (The Graduate school of Education and Human Development, Nagoya University) No.1, 2002年1月, 25頁-40頁.
13. Etsuo Yokoyama, Котряхов Н.В 'Ручной труд в образовательных учреждениях России' "педагогика", No. 10, 2003, 2003年10月, p.73-p.80.
14. Etsuo Yokoyama, Ulla Johansson 'The Introduction of Sloyd into Swedish Elementary Schools', 『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要(教育科学)』第51巻第2号, 2005年3月, 27頁-39頁.
15. 「手工科成立過程期における日本とスウェーデンとの教育交流—手工科に与えたスロイドの影響の再評価—」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要(教育科学)』第50巻第2号, 2004年3月, 27頁-39頁.
16. 「スロイドの伝統と技術科の誕生—普通教育における技術教育を考える—」『日本の科学者』Vol.40, No.1, 2005年1月, 22頁-27頁.
17. 「オットー・サロモンの初期スロイド教育—ネース・少年スロイド学校における実践の到達点からみたシグネウスの影響—」『日本産業教育学会紀要』第36巻第1号, 2006年1月, 73頁-80頁.
18. 「スウェーデンにおける1877年改革前後のスロイド学校の実態—オットー・サロモンの著書からみえてくるもの—」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要(教育科学)』第52巻第2号, 2006年3月, 1頁-27頁.
19. 'A study of Otto Salomon's sloyd education in his earlier stage—analysis of the practice of Naas sloyd school for boys (1872-1876)', 『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要(教育科学)』第53巻第1号, 2006年9月, 63頁-73頁.
20. 「オットー・サロモンのスロイド教育システムのテーゼ」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要(教育科学)』第53巻第1号, 2006年9月, 45頁-61頁.
21. 「オットー・サロモンによるスロイドのモデルシリーズの形成と発展」『日本産業教育学会紀要』第37巻第1号, 2007年1月, 47頁-54頁.
22. 「(資料紹介) スウェーデンの1842年の民衆教育令」名古屋大学教育発達科学研究科技術・職業教育研究室『技術教育学の探究』第4号, 2007年9月, 55頁-80頁
23. 「スウェーデンにおける民衆学校制度の形成—1842年の民衆教育令の特徴とその後の国民教育の実態から—」『北欧史研究』第25号, 2008年8月, 43頁-54頁
24. "Skapandet av det allmänna skolsystemet i Sverige - 1842 års folkskolestadga och dess betydelse" 『技術教育学の探究』第5号, 2008年9月 134頁-157頁.
25. Gisli Thorsteinsson, Brynjar Olafsson, Etsuo Yokoyama 'The establishment of Danish School Sloyd and the beginning of Sloyd education in Iceland' 『技術教育学の探究』第11号, 2014年10月, 85頁-94頁
26. 横山悦生・三宅章介「日本における企業内教育訓練の今日的動向とその諸問題—日本経営者団体連盟の一連の報告書等を中心に—」『技術教育学の探究』第12号, 2015年4月, 118頁-153頁.
27. Gisli Thorsteinsson, Brynjar Olafsson, Etsuo Yokoyama 'Otto Salomon and Aksel Mikkelsen, and their

- Pedagogical Models for Establishing Sloyd Education in Denmark and Sweden', 『技術教育学の探究』第13号, 2015年10月, 1頁-8頁.
28. 横山悦生・王文暉「中国人民大学留学生のTWI研究とその意義について」『産業訓練』Vol.62, No.711, 2016年9月, 16頁-23頁
 29. Gisli Thorsteinsson, Brynjar Olafsson, Etsuo Yokoyama 'Examining the Literature on Basic educational ideas established by the Initiators of the english Art and Craft Movement and the Scandinavian Sloyd' 『技術教育学の探究』第15号, 2016年10月, 94頁-101頁
 30. Etsuo Yokoyama, Anders Nilsson 'Company-based vocational education and training: Case studies of shipbuilding industries in Japan and Sweden', "Essays in Economic & Business History" (The Economic & Business History Society) No.34, 2016, p.136-p.164
 31. Gisli Thorsteinsson, Etsuo Yokoyama 'The Arts and Crafts Movement and its influence on English education at the beginning of the Industrial Revolution' 『技術教育学の探究』第17号, 2018年4月, 35頁-47頁.
 32. 横山悦生・三宅章介「職業指導から進路指導への移行過程についての一考察」『技術教育学の探究』第18号, 2018年10月, 21頁-31頁.
 33. 朴雪梅・横山悦生「上海市における後期中等職業教育の改革動向：高等職業教育との接続を中心に」『技術教育学の探究』第19号, 2019年4月, 40頁-48頁
 34. 横山悦生・三宅章介「バブル景気前後の中小企業における人的資源管理について」『技術教育学の探究』第20号, 2019年10月, 52頁-75頁.
 35. 横山悦生, ニクラス・ブロンベリ「スウェーデンの職業教育制度史研究—1877年から1955年までの初等技術教育とそれに対する国庫補助金に注目して—」日本職業教育学会『職業教育学研究』第50巻第2号, 2020年7月, 19頁-34頁.
 36. 横山悦生・三宅章介「地域中小企業における5S活動の現状とその課題についての調査研究—とりわけ「巽」に焦点を当てて—」『技術教育学の探究』第21号, 2020年10月, 89頁-116頁.
 37. 馬淵浩一・横山悦生「長岡高等工業学校による小規模鉄工所への技術指導」蚕業技術史学会『技術と文明』第44冊23巻1号, 2020年12月, 45頁-58頁.
 38. 川島智生・横山悦生「デンマーク・カールスベアのコペンハーゲン本社ビール醸造所の成立と建築特徴」『産業考古学』第158号, 2021年3月, 43頁-52頁.
 39. 三宅章介・横山悦生「ニッチ企業における技能者養成と技能伝承—テクニカ・カレッジの事例を中心に—」『技術教育学の探究』第24号, 2021年10月

Ⅲ 国際会議発表論文

1. 'The college of vocational training students (Polytechnic students), their views on vocational aims' Hajime Kobayashi, Paolo Gurisatti, Gennady V.Borovskoy edit. "Young people in Italy, Russia and Japan: For endogenous community developments in the non-heavy industrialized regions", (Report of International symposium of a joint researches by ITALIANS, RUSSIANS and JAPANESE), 1997年9月, p.130-p.140 (横山執筆部分).
2. 'Nordic sloyd as an origin of Japanese Technology Education—Otto Salomon and Uno Cygnaeus—' Tapani Kananoja, Jouko Kantola, Minna Issakainen edits., "Development of Technology Education -Conference-98-", 1999, p.324-p.342
3. Etsuo Yokoyama, Hisaharu Yoshitome 'Technology education in Japan', Lazaro Moreno Herrera edit. "Worldwide Sloyd—Curriculum development in sloyd and technology education as an expression of social demands. A comparative study of the developments in Finland, France, Germany, the united kingdom, Spain and Japan" Report I (Publications from the Faculty of Education No.5), 2000年5月, p.64-p.70 (横山担当部分).
4. 'Japanese Handicraft Subject (Syukkou-ka) and Swedish Sloyd Education' М.Павлова ИМ. Гуревич Ред."Первая международная конференция 'Тенденции развития технологического

- образования”, 2002, с 147- с 152 (M. Pavlova and M. Gurevich edit. “1st Biennial international conference on Technology Education”, 2002, p.147-p.152).
5. Etsuo Yokoyama, Tatsuro Matsumoto ‘Handicraft Education and Technology Education in Japan’ “Технологическое образование как фактор инновационного развития страны—Материалы XVI международной научно-практической конференции” Ярославль, 2010, p.20-p.25
 6. Ёкояма Эцуо, Мацумото Тацууро ‘Последние тенденции и перемены в начальном школьном образовании в области художественного искусства и ремесла’ (“Технологическое образование для подготовки инженерно-технических кадров—Материалы XVII международной конференции по проблемам технологического образования школьников” МИОО, Москва, 2011, Dec. p.75-p.77
 7. ‘О значении трудового обучения в Японии’ “Технологическое образование и устойчивое развитие региона—Материалы международной научно-практической конференции” Октября 2012, p.107-p.113
 8. Мацумото Тацууро, Ёкояма Эцуо, ‘О значении трудового обучения в Японии’ “Технологическое образование для инновационно-технологического развития страны—Материалы XVIII международной конференции по проблемам технологического образования школьников” МИОО, Москва, 2012, Dec. p.38-p.45.
 9. Мацумото Тацууро, Ёкояма Эцуо, “On computer education in Japanese elementary schools” “Технологическое образование для инновационно-технологического развития страны—Материалы XIX международной конференции по проблемам технологического образования школьников” МИОО, Москва, 2013, Dec. p.42-p.44.
 10. Etsuo Yokoyama, Takehiro Amano ‘The process of self-formation as technical teacher at Industrial high school teacher in Japan’ “Modern Technological Education: Problems and Prospects, devoted to the 95-th anniversary of birth of academician of the Russian Pedagog, Peter Rodionovich Atutov. (“Современное технологическое образование проблемы и перспективы [Материалы международной научно-практической конференции]), Buryat State University, Ulan-Ude (Russia) 2016, p.12-p.18.
 11. Etsuo Yokoyama, Takehiro Amano ‘The process of self-formation as technical teacher at Industrial high school in Japan—focused on technology history education-’ (“Современное технологическое образование—Материалы XXII международной конференции по проблемам технологического образования” МПГУ МОСКВА, 2016, p.121-p.129.

IV 報告書

1. 「技術・職業教育に関する用語解説（ロシア）」『学校の技術・職業教育と学校外の職業教育・訓練についての国際比較研究（科研費報告書）』（永田萬享, 長谷川雅康), 1994年3月, 146頁-155頁.
2. 「第1章 看護学校教員の養成体系」『学校外教育施設における指導者の養成体系に関する調査』職業能力開発大学校研修研究センター調査研究報告書 No.83, 1995年3月（中村謹也と共著）, 3頁-45頁.
3. 「家庭科教育の社会的基盤について」, 工藤文三研究代表科学研究費補助金報告書『教科教育研究の理論的枠組みと体系化に関する総合的研究』, 1997年3月, 55頁-60頁.
4. 「第2章 岐阜県近代化遺産（建造物等）の概要 第4節 岐阜県の産業遺産（研究の現状と課題）」, 岐阜県教育委員会『岐阜県の近代化遺産調査報告書』, 1996年3月, 5頁-7頁.
5. 「発電用水車ケーシングの変遷について—岐阜県内保存の水車から—」（『世界文化遺産・白川郷の持続的保全方法に関する研究—自然と人間の共存・共生する新しい道を求めて—』科学研究費補助金（基盤研究（B）（2））研究成果中間報告書（研究代表者：合田昭二）2000年3月, 74頁-86頁
6. 「板取川水力電気と武藤助右衛門」『シンポジウム 中部の電力のあゆみ—岐阜の発電事業と地域社会』（中部産業遺産研究会 第8回講演報告資料集）, 2000年11月, 57頁-67頁.

7. 「白川郷合掌造りと塩硝」『世界文化遺産・白川郷の持続的保全方法に関する研究—自然と人間の共存・共生する新しい道を求めて—』科学研究費補助金（基盤研究（B）（2））研究成果報告書（研究代表者：合田昭二）2001年3月，174頁－185頁。
8. 市原宏一・角谷英則・熊野聡・横山悦生「ラトビアとエストニアにおける工作教育，職業教育についての覚書」『環バルト海 研究会第2回現地調査報告書（2000年9月10日～9月21日）』，名古屋大学情報文化学部 Discussion Paper, No.1-2，2001年6月，17頁－27頁。
9. 横山悦生，吉岡利浩，加藤敬之「イギリスの調査報告」『初等・中等教育における知財教育手法の研究報告書』（平成19年度特許庁大学知財研究推進事業，三重大学教育学部教授松岡守代表）2008年3月，56頁～62頁。
10. 『スウェーデンにおける「教育的スロイド」の成立過程に関する実証的研究』（平成17年度～平成19年度科学研究費補助金（基盤研究C）研究成果報告書），2008年3月，全171頁
11. 「スウェーデンとノルウェーの中等教育におけるカリキュラム改革」『中等教育・職業教育における新カリキュラム開発の動向に関する国際比較』（堀内達夫代表，科学研究費補助金研究成果報告書（平成20～22年度））（課題番号 20330164）2011年3月，164頁－178頁。

V 翻訳

1. 「若い父親への手紙—スホムリンスキーの教育実践（5）—」『どの子ども伸びる』（部落問題研究所）第100号，1985年8月，95頁－97頁。
2. 「若い父親への手紙—スホムリンスキーの教育実践（6）—」『どの子ども伸びる』（部落問題研究所）第101号，1985年9月，85頁－87頁。
3. 「若い父親への手紙—スホムリンスキーの教育実践（7）—」『どの子ども伸びる』（部落問題研究所）第102号，1985年10月，88頁－90頁。
4. 「学習者についての新しい見解：授業とカリキュラムへの示唆」稲葉宏雄・大西匡哉監訳『すべての子どもにたしかな学力を』明治図書，1986年3月，156頁－166頁。
5. 「集団の知的生活は集団の各成員の精神的発達の源泉である」及び「知識の習得過程と知的発達」スホムリンスキー『学力論』（杉山明男監訳），1988年6月，90頁－102頁，113頁－122頁。
6. 「テフニクムの教授プラン」技術教育研究会『技術教育研究』第40号，1992年8月，55頁－57頁。
7. C. ベンソン著，横山悦生訳「英国の初等学校における『設計と技術』科の発展動向」『職業と技術の教育学』第13号，2000年4月，8頁－12頁（原文：Clare Benson “Developing design and technology in primary schools in England” Science in Vocational and Technical Education” No.13, April 2000, p.1-p.7）。
8. M. パブローバ著，横山悦生・丸山佐和子・丸井美穂子訳「ロシアの技術科教育—デザイン・アプローチの社会文化的制約—」『職業と技術の教育学』第15号，2002年3月，43頁－66頁（原文：Margarita Pavova: Technology Education in Russia --Socio-Cultural Limitations to Design-Approach-- “Science in Vocational and Technical Education” No.15, 2002, p.15-p.42）。
9. ニコライ・ワシーリエビッチ・コトリヤール・ホフ著，横山悦生訳「労働教育の諸問題への現代的アプローチ」『技術・職業教育学研究室研究報告』創刊号，2003年8月，14頁－16頁。
10. タバニ・カナノヤラ著，横山悦生・丸山佐和子・丸井美穂子訳「フィンランドの普通教育における技術科教育」名古屋大学大学院教育発達科学研究科『技術・職業教育学研究室 研究報告』創刊号，2003年8月，48頁－68頁（原文：Tapani Kananaja, Junko Kantola, Miika Lehtonen, Matti Psriska, Timo Tiusanen “Technology Education in General Education in Finland” “Bulletin of Institute of Vocational and Technical Education” No.1, 2003, p.17-p.47）。
11. ウラ・ヨハンソン，横山悦生・丸井美穂子訳「スウェーデンにおける労働者の生涯学習プロジェクト」『技術・職業教育学研究室 研究報告』第2号，2005年5月，82頁－84頁（原文：Ulla Johansson; The life long learning project of Swedish workers, 『技術・職業教育学研究室 研究報告』第2号，2005年5月，78頁－81頁）。
12. マーチン・ヨハンソン著，横山悦生・丸井美穂子訳「スウェーデンにおける高等教育と生涯学習の概念」『技術・職業教育学研究室 研究報告』第2号，2005年5月，91頁－95頁（原文：Martin Johansson; Higher Education and the concept of Life Long Learning in Sweden, 『技術・職業教育学研究室 研究報告』第2号，

- 2005年5月, 85頁-90頁).
13. [資料紹介] 1864年の国王の回状—民衆教育に関する特別な規則 (1864年4月22日) — (『技術・職業教育学研究室研究報告 技術教育学の探究』第4号, 2007年9月, 81頁-82頁.
 14. Otto Salomon 著, 横山悦生訳「製図とスロイドの関係について」『技術教育学の探究』第16号, 2017年10月, 47頁-53頁.
 15. ニクラス・ブロンベリ, 横山悦生共訳「なぜスウェーデンはデンマークとは異なる経路を選択したのか—1950年代の職業教育諸改革の背景—」『生涯学習・キャリア教育研究』第14号, 2018年3月, 41頁-54頁.
 16. Otto Salomon 著, 横山悦生訳「いわゆる準備練習について」『技術教育学の探究』第17号, 2018年4月, 58頁-70頁.
 17. Otto Salomon 著, 横山悦生訳「モデルシリーズの組織に関するいくつかの観点について」『技術教育学の探究』第18号, 2018年10月, 5頁-13頁.
 18. Otto Salomon 著, 横山悦生訳「スウェーデンの教育的スロイドはいかなる考えを生み出してきたのか?」『技術教育学の探究』第18号, 2018年10月, 14頁-17頁.
 19. Otto Salomon 著, 横山悦生訳「スロイド教育について」『技術教育学の探究』第19号, 2019年4月, 15頁-23頁.
 20. Otto Salomon 著, 横山悦生訳「労働への愛について」『技術教育学の探究』第19号, 2019年4月, 24頁-26頁.
 21. Otto Salomon 著, 横山悦生訳「労働に対する尊敬」『技術教育学の探究』第19号, 2019年4月, 27頁-30頁.
 22. Otto Salomon 著, 横山悦生訳「労働における主体性」『技術教育学の探究』第20号, 2019年10月, 39頁-40頁.
 23. Otto Salomon 著, 横山悦生訳「自己活動とその発達について」『技術教育学の探究』第20号, 2019年10月, 41頁-42頁.
 24. Otto Salomon 著, 横山悦生訳「アスコーフ民衆高等学校への訪問」『技術教育学の探究』第20号, 2019年10月, 43頁-45頁.
 25. Fay Nilsson 著, ニクラス・ブロンベリ, 横山悦生共訳「林業労働のための職業教育」『生涯学習・キャリア教育研究』第15号, 2019年3月, 39頁-49頁.
 26. Otto Salomon 著, 横山悦生訳「教養についての会話」『技術教育学の探究』第20号, 2019年10月, 46頁-51頁.
 27. Anders Nilsson 著, ニクラス・ブロンベリ, 横山悦生共訳「1940年から1975年までのスウェーデンの職業教育の展開」『生涯学習・キャリア教育研究』第16号, 2020年3月, 42頁-52頁.
 28. Otto Salomon 著, 横山悦生訳「仕上げた作品を磨くことについて」『技術教育学の探究』第21号, 2020年10月, 17頁-22頁.
 29. Otto Salomon 著, 横山悦生訳「ウノ・シグネウス」『技術教育学の探究』第21号, 2020年10月, 23頁-24頁.

Ⅵ その他

1. 「新しい中学校家庭科の歴史的位置をめぐって」『家庭科教育』第63巻第5号, 家政教育社, 1989年4月, 29頁-32頁.
2. 「家庭科教育をどう考え, どう位置づけるか」教育科学研究会『教育』, 国土社, 1989年11月, 80頁-84頁.
3. 「子どもの生活と家庭教育」アコム経済研究所『ホーム・エコノミカ』第9巻2号, 1990年3月, 16頁-18頁.
4. 「家庭科関係の文部省著作教科書一覧を作成して」近代日本教育史料研究会『瓦版』第56号, 1991年5月, 1頁-4頁.
5. 「11年制中学校について」技術教育研究会『技術教育研究』第40号, 1992年8月, 34頁-36頁.
6. 「橋本紀子『男女共学制の史的的研究』を読む」, 日本教育史研究会『日本教育史研究』第12号 (井上恵美子・伊藤めぐみ), 1993年8月, 120頁-124頁.
7. [図書紹介] 宮崎惇著『棚橋源太郎』, 技術教育研究会『技術教育研究』第42号, 1993年8月, 58頁-59頁.
8. 「高校職業教育のカリキュラムに関する研究—A県B高校生活情報科の教育課程の特徴について—」日本産業教育学会『産業教育学研究』第24巻第1号, 1994年1月, 38頁-39頁.
9. 「ぎふの産業遺産—名鉄美濃町線—往年の産業戦士の足—」『中日新聞』1994年8月10日, 17頁.
10. 「パネルディスカッション『家庭から広がる男女共同参画』, 男女共同参画社会実現に向けての活動支援会議『男と女のはあもにいフォーラム岐阜報告書』, 1995年2月, 36頁-47頁.

11. 「岐阜県にある中等教育史関係の資料について」『中等教育史研究』第3号, 1995年4月, 35頁-40頁.
12. 「ぎふの産業遺産—神岡鉱山の道具類—鉱山労働の歴史物語る—」『中日新聞』1996年8月20日, 17頁.
13. 「神岡鉱山—道具が語る鉱山の歴史—」『中部の産業遺産』, 1996年11月, 88頁-91頁.
14. 「若い世代は産業遺産をどう受けとめているか」, 『第4回「産業技術の継承活動」全国交流大会報告書』1997年1月, 49頁-54頁.
15. 「クローズアップ・産業遺産 座談会」, 中部産業活性化センター『CIAC』, 1997年1月, 12頁-21頁.
16. 「アイスランドにおける Technology Education の最近の動向について」『技術教育研究』第52号, 1998年7月, 94頁-98頁.
17. 「国鉄旧北陸線の産業遺産—杉津線のトンネルとスイッチバック— (『産業考古学』) 1999年12月, 15頁-20頁.
18. Etsuo Yokoyama, Bjorn Aakre “Cumpulsory Education in Japan- A Norwegian perspective—” Telemark University College Institute of Pedagogue, 2000年10月, 1頁-14頁.
19. 「第11回国際産業遺産保存会議 (TICCIH2000) に参加して」産業考古学会『産業考古学』第99号, 2001年3月, 12頁-13頁.
20. 「北欧教育学会第29回大会に参加して」(Mitt intryck om NFPF 29: e kongressen i Stockholm) “SMULTRONSTÄLLET” (Japansk- Svenska Föreningen i Chubu), No.17, 2001年10月, 11頁-13頁.
21. 「大学授業改革—『ものづくり』を大学での授業にとりいれて—」『子どもの遊びと手の労働』No.340, 2001年12月, 6頁-10頁.
22. 「『教育的スロイド』の成立をめぐる」, 技術教育研究会『技術と教育』第362号, 2004年2月, 11頁-13頁.
23. 「ヨンショーピン (Jönköping) と清水誠」Japanska Riksförbundet i Sverige “HASHI” NR.122, 2004年5月, 12頁-13頁.
24. 「スウェーデンのスロイド教科の現状とその歴史 (その1)」『技術教室』623号, 2004年6月, 58頁-65頁.
25. 「スウェーデンのスロイド教科の現状とその歴史 (その2) —オットー・サロモンとネース少年スロイド学校」『技術教室』624号, 2004年7月, 58頁-63頁.
26. 「スウェーデンの工作教育」『子どもの遊びと手の労働』No.378, 2005年2月, 1頁-6頁.
27. 「スウェーデンにおける教育的工作 (教育的スロイド) の誕生とその後の展開」『子どもの遊びと手の労働』No.404, 2007年4月, 2頁-6頁.
28. 横山悦生・横尾恒隆「諸外国の技術職業教育」技術教育研究会『技術と教育』第418号, 2008年10月, 2頁-4頁
29. 横山悦生・加藤敬之「ノルウェーの教育制度の概要とテクノロジー・デザイン教育について」『岐阜みんけん』第37号, 2009年3月, 19頁-26頁.
30. 「技術教育研究会第42回全国大会にあたって」『技術と教育』第427号, 2009年7月, 2頁.
31. 「産業考古学会2009年度全国大会 (津山市) 見学会報告」『産業考古学』134号, 2009年12月, 15頁-16頁.
32. 横山悦生・加藤敬之「2009年ノルウェー教育調査報告 (特集 ノルウェーの教育と文化)」『子どもの遊びと手の労働』437号, 2010年1月, 3頁-9頁.
33. 「“ものづくりと技術教育の研究・交流会”のこれまで」(『技術と教育』435巻, 2010年3月, 6頁-8頁
34. 横山悦生・野村浩志「森下 一期著作目録」『技術教育学の探究』第7号, 2010年10月, 76頁-89頁
35. 「企業内教育部会報告—主体的な職業能力の形成をめざして—学校教育からインターンシップを通して企業内教育へ」『産業教育学研究』第42巻第1号, 2012年1月, 50頁-51頁.
36. 白斯琴托雅・横山悦生「内モンゴルの初等教育における技術教育的内容について—「総合実践活動の教科書」を中心に—」『技術と教育』第459号, 2012年3月, 7頁-8頁.
37. 「韓国における最近の中等職業教育改革の動向—韓国教育科学技術部を訪問して—」『技術と教育』第462号, 2012年6月, 12頁-15頁.
38. 「企業内教育部会報告—伝統産業就業者のつくり方—若人の夢支援の条件」『産業教育学研究』第43巻第1号, 2013年1月, 4頁-45頁.
39. 「第12回研究大会報告 (分科会2) スウェーデンの普遍主義と教育・雇用」『北ヨーロッパ学会ニュースレター』第8号, 2014年5月, 2頁.

40. 寺田盛紀・横山悦生「名古屋大学在職期・在職後の佐々木先生の活動」『産業教育学研究』第46巻第1号, 2016年1月, 47頁-48頁.
41. 「巻頭言 産業考古学を学問として発展させるために一故佐々木享先生の歩みから学ぶもの一」『産業考古学』第156号, 2016年3月, 1頁.
42. 「佐々木享先生と技術史研究, 産業考古学研究」近畿産業考古学会『近畿の産業遺産—10周年記念号—』2016年5月, 48頁-49頁.
43. 「佐々木享先生の人生の歩みと技術史や産業遺産に関する研究業績について」中部産業遺産研究会『産業遺産研究』第23号, 2016年7月, 37頁-40頁.
44. 「森下一期先生の思い出—名古屋大学教育学部助教授の時期を中心に—」『追悼集』2016年10月.
45. 「巻頭言」北ヨーロッパ学会編『北ヨーロッパ研究』特別号, 2019年, 1頁-2頁.
46. 「ロシアにおけるテクノロジー科(技術科)の近年の動向について」『技術と教育』第553号, 2020年1月, 1頁-2頁.
47. 横山悦生・倉田研一「坂本清泉・智恵子先生蒐集の『女紅場』に関する資料の紹介と今後の研究の課題」名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリー発行『GRL No.3』2021年7月, 40頁-43頁.

Ⅶ 学会発表

1. 「日本における手工科の成立とスロイド教育」教育史学会第43回大会(北海道大学)1999年10月2日.
2. 「アメリカにおける教育的スロイドの受容過程の一側面—グスタフ・ラーションとオットー・サロモンとの往復書簡を中心に—」教育史学会第45回大会(上越教育大学), 2001年9月29日.
3. 「手工教育の成立期における経済的契機と教育的契機—スウェーデン・スロイド協会の成立と『営業の自由』をめぐる—」日本産業教育学会第43回大会(徳島大学), 2002年10月28日.
4. 「オットー・サロモンのスロイド教育—ネース・スロイド少年学校における実践の到達点とウノ・シグネウスの影響—」日本産業教育学会第46回大会(東京学芸大学), 2005年10月2日.
5. 「オットー・サロモンによるスロイドのモデルシリーズの形成と発展」日本産業教育学会第47回大会(大阪市立大学), 2006年10月15日.
6. 「スウェーデンにおける民衆教育の形成とスロイド教育」教育史学会第51回大会(四国学院大学)2007年9月23日.
7. 坂本学之・横山悦生「企業内教育としての連携教育の歴史的研究—A社の事例を中心として—」, 日本産業教育学会第52回大会(宇都宮大学), 2011年10月23日.
8. 横山悦生・沼口博「北欧(フィンランドとスウェーデン)における職業教育・訓練の最近の改革動向について」, 日本産業教育学会第52回大会(宇都宮大学), 2011年10月23日.
9. 横山悦生・Anders Nilsson「造船所設置工場学校の日瑞比較」, 日本産業教育学会第53回大会(金沢大学), 2012年10月21日.
10. 「スウェーデンにおける産業遺産の活用例」産業考古学会2013年度全国大会(富山県民会館), 2013年10月13日.
11. 横山悦生・沼口博「北欧における新たな職業教育・訓練制度の試みについて—スウェーデン・フィンランド・ノルウェーの調査から—」日本産業教育学会第54回大会(名古屋大学), 2013年10月27日.
12. 「スウェーデンの産業教育遺産としてのネース・スロイド教育関連施設群」産業考古学会新年例会(物流博物館), 2014年1月26日.
13. 横山悦生・沼口博「北欧諸国における新たな職業教育・訓練制度の試みについて—スウェーデン・デンマーク・フィンランドの調査から—」日本産業教育学会第55回大会(大東文化大学), 2014年10月27日.
14. 「スウェーデンの技術教育遺産としてのスロイド(手工)教育」中部産業遺産研究会 第23回総会記念講演(名城大学), 2015年5月17日.
15. 横山悦生・沼口博「北欧諸国における新たな職業教育・訓練制度の試みについて—スウェーデン・ノルウェー調査から—」日本産業教育学会第56回大会(和歌山大学), 2015年10月18日.
16. 「TICCIH 2015 リール報告」(日本ICOMOSと産業考古学会との合同研究会)岩波書店一ツ橋ビル会議室, 2016年1月10日.

17. 横山悦生・沼口博「北欧の職業教育・訓練制度改革の試み—北欧4ヶ国の比較検討—」日本教育社会学会第68回大会（名古屋大学），2016年9月17日。
18. 横山悦生・沼口博「北欧における職業教育・訓練の最近の動向（その4）—デンマーク・フィンランドの近年の改革の特徴—」日本産業教育学会第57回大会（工学院大学）2016年10月23日。
19. 横山悦生・沼口博「北欧における職業教育・訓練の最近の動向（その5）—デンマーク・フィンランドの近年の改革の特徴—」（日本産業教育学会第58回大会（大阪工業大学）2017年10月1日。
20. 「スウェーデンの鉄の産業遺産を訪ねて」新産業地域学ワークショップ（岡山大学）2017年12月23日。

VIII 国際学会発表

1. “Seeking the origin of Japanese handicraft subject” Nordo-Forum-Symposium’99 (World Wide Sloyd, Ideologi for Framtidens Samhalle”) Abo academi institutionen for Lararutbildning, Vasa (Finland), 1999年11月27日。
2. “Water Turbine Casings in Japan from 1890’s to 1920’s”, TICCIH2000 (The international committee for the conservation of the industrial heritage millennium congress), Imperial College of Science, Technology and Medicine, London (United Kingdom), 2000年8月31日。
3. “Otto Salomon beyond Swedish history of education-- Implications for current developments in technology education at the compulsory school-” (Lázaro Moreno Herrera と共同発表) Nordic Educational Research Association (NERA) 29th Congress (Session 4 Historical Research), Stockholm, 15-18 March, 2001.
4. “Внутрифирменное обучение в Японии”（日本における企業内教育について）“Неделя образования в зрелых 2001”（ Нижний Новгород, Россия）（成人教育週間2001, ニジニ・ノブゴラド市, ロシア）。2001年9月14日。
5. ‘Japanese Handicraft Subject (Syukkou-ka) and Swedish Sloyd Education’ “Первая международная Конференция ‘Тенденции развития Технологического Образования”（ Нижний Новгород, Россия）（技術教育に関する第1回国際会議”ニジニ・ノブゴラド市, ロシア），2002年7月11日。
6. ‘Preserving old traditions or creating new ones? The introduction of sloyd into Swedish elementary schools’ (Ulla Johansson との共同発表) “Pedagogik historisk forskning --Perspektiv, metoder, förhållningssätt 2: a nordiska konferensen” ストックホルム教育大学（The Stockholm Institute of Education ），2003年9月25日～27日。
7. ‘Exchange between Japan and Europe in the field of “Origami—a history of paper handicraft-”’ “ANNUAL SYMPOSIUM OF THE FINNISH ASSOCIATION FOR RESEARCH IN TECHNOLOGY EDUCATION”, Department of Teacher Education, University of Helsinki, 2003年10月10日。
8. ‘A study of Otto Salomon’s sloyd education in his earlier stage –analysis of the practice of Naas sloyd school for boys (1872–1876)’, “Tradition in Transition—teaching Sloyd, Arts and Crafts in Contemporary society (The first International Research conference on Sloyd, Arts and Craft/Design)”, Umea University, 2006年5月15日–18日。
9. Skapandet av det allmänna skolsystemet i Sverige - 1842 års folkskolestadga och dess betydelse, Svenska Historikermötet april 2008 i Lund, (Lund), 2008年4月24日。
10. Etsuo Yokoyama, Tatsuro Matsumoto ‘Handicraft Education as base for future of humanity and human nature’ “Contemporary Technological Education: Problems and Prospects”, devoted to the 90-th anniversary of birth of academician of the Russian Open Society, Doctor of Education, Peter Rodionovich Atutov. Buryat State University, Ulan-Ude (Russia), 2011年6月18日。
11. 「戦後初期の高等学校における職業教育の構想について—『新制高等学校教科課程の解説』を中心に—」, 日瑞職業教育シンポジウム（第1回），ルンド大学（Sweden），2011年8月15日。
12. Etsuo Yokoyama, Tatsuro Matsumoto ‘Последние тенденции и перемены в начальном школьном образовании в области художественного искусства и ремесла’ (“Технологическое образование для подготовки инженерно–технических кадров

- в—материалы XVII международной конференции по проблемам технологического образования школьников” (Москву教育大学), 2011年11月28日.
13. Etsuo Yokoyama, Hiroshi Numaguchi ‘Transforming Vocational Education and Training in Japanese Industries, especially after Lehman Shock ---focus on Japanese Automobile Manufacturers— “POLICIES & WORK MARKET DEMANDS -CHALLENGES AND POTENTIALITIES FOR VOCATIONAL EDUCATION AND TRAINING. VOICES FROM RESEARCH (International Conference & Research Workshop)” (ストックホルム大学), 2012年5月24日.
 14. Etsuo Yokoyama 「Kobukuro factory school (幸袋職工学校について)」, International Seminar Vocational education and training in a comparative perspective.Lund University School of Economics and Management (日瑞職業教育・訓練シンポジウム (第2回)) ルンド大学 (Sweden), 2012年8月26日.
 15. Etsuo Yokoyama, Tatsuro Matsumoto ‘О значении трудового обучения в Японии’ “Технологическое образование для и инновационно - технологического развития страны— материалы XVIII международной конференции по проблемам технологического образования школьников” (Москву教育大学), 2012年11月27日.
 16. Etsuo Yokoyama, Hiroshi Numaguchi ‘On the Transforming of Vocational Education and Training in Japanese Automobile Companies at Turning Points! —focus on Changing the Way of Vocational Education and Training at A company--- “Vocational Education and Training---Emerging Issues? (International Conference & Research Workshop)” (Stockholm University), 2013年5月14日.
 17. Etsuo Yokoyama, Anders Nilsson ‘The Factory School – a comparative analysis of two cases: Mitsubishi and Kockums Mekaniska Verkstad’ “Myths and Brands in Vocational Education---The 20th Anniversary Conference for Vocational Education and Culture research network and 2nd Conference for History of Vocational Education in Europe---” (Tampere University), 2013年6月15日.
 18. Etsuo Yokoyama, ‘Why the Mitsubishi Industrial Preparatory School was established’ International Seminar Vocational education and training in a comparative perspective” (Lund University), 2013年8月26日.
 19. Petros Gougoulakis, Etsuo Yokoyama, Hiroshi Numaguchi ‘Comparative study on Vocational Education and Training at post secondary level between Japan and Sweden’ “Vocational Education & Training Emerging Issues? VOICES FROM RESEARCH (III International Conference & Research Workshop)” Stockholm University, 2014年5月14日.
 20. Etsuo Yokoyama, Anders Nilsson ‘Company-based Vocational Education and Training: Two Case Studies from the Shipbuilding Industry’ (“Economic and Business history Society, 39th Annual Conference” (Manchester), 2014年6月30日.
 21. “Upper Secondary VET in Japan” (高校教育に関する特別セミナー (イエーテボリ大学教育学部), 2015年3月27日.
 22. Petros Gougoulakis, Etsuo Yokoyama, Hiroshi Numaguchi ‘Between the Academy and Industry: Post-Secondary VET in SWEDEN and JAPAN with focus on Workplace-based Training’ (“Vocational Education & Training Emerging Issues? VOICES FROM RESEARCH (IV International Conference & Research Workshop)” (Stockholm University), 2015年5月12日.
 23. Etsuo Yokoyama, Takehiro Amano ‘The process of self-formation as technical teacher at Industrial high school in Japan’ “Modern Technological Education: Problems and Prospects, devoted to the 95-th anniversary of birth of academician of the Russian Pedagog, Peter Rodionovich Atutov.” Buryat State University, Ulan-Ude (Russia), 2016年4月27日.
 24. Petros Gougoulakis, Etsuo Yokoyama, Hiroshi Numaguchi ‘Between the Academy and Industry: Post-Secondary VET in SWEDEN and JAPAN with focus on Workplace-based Training’ “Vocational Education & Training Emerging Issues? VOICES FROM RESEARCH (IV International Conference & Research Workshop)” Stockholm University, 2016年5月12日.
 25. Etsuo Yokoyama, Takehiro Amano ‘The process of self-formation as technical teacher at Industrial high

school in Japan –focused on technology history education” “Современное технологическое образование международной конференции по проблемам технологического образования” (モスクワ教育大学), 2016年10月4日.

Ⅸ 書評・図書紹介

1. 書評「西岡常一・小川三夫・塩野米松著『木のいのち 木のこころ(天, 地, 人)』」『産業教育学研究』第39巻1号, 2009年1月, 83頁-84頁.
2. 書評「田中喜美/木下龍著 『アメリカ合衆国技術教育教員養成実践史論-技術教育のための「大学における教員養成」の形成-」技術教育研究会『技術教育研究』第70号, 82頁~85頁, 2011年8月.
3. 書評「福田誠治著『フィンランドはもう『学力』の先を行っている—人生につながるコンピテンス・ベースの教育』」教育開発研究所『教職研修』2013年4月号, 2013年4月, 115頁.
4. 図書紹介「『長崎県近代化遺産めぐり 夢の遺産 石炭, 造船, 防衛』」『産業考古学』2014年, 25頁-26頁.
5. 図書紹介「田中喜美編著『技術教育の諸相』」『技術教育研究』第76号, 2017年7月, 82頁-83頁.
6. 書評 本所恵著「スウェーデンにおける高校の教育課程改革 専門性に結び付いた共通性の模索」, 『北ヨーロッパ研究』第13巻, 2017年, 63頁-65頁.

Ⅹ 辞典

1. 「手工教育」「作業科」「実業教育」社会教育・生涯教育辞典編集委員会編『社会教育・生涯教育辞典』朝倉書店, 2012年11月, 273頁, 194頁, 223頁-224頁.

